

\*\*\*\*\*

メルマガ

NPO 法人市民福祉団体全国協議会・復興支援事務所

NO.17 (2013年2月1日発信)

# しっかい！

歩もう	つながろう
支えよう	広げよう
学ぼう	増やそう

\*\*\*\*\*

## ★被災地関連情報★

引き続き募集中です！  
問い合わせは連絡先へ直接行ってください。

【山元町仮設の女性グループ支援】 中古ミシン提供募集！  
連絡先[ささえ愛山元・中村怜子 080-3031-5722]

今回は、古賀さんからの提案をトップにしてメルマガを発信します。まさに現場のさりげない会話からニーズをキャッチして、何が必要かを提言してくださっています。古賀さん、本当にありがとうございました。

「何かちょっと変？」「これで良いの？」と感じ、「何とかしなくちゃ！」と思うセンサーは、NPO特有のもの。被災地からの声をキャッチし、「つぶやきを声に、思いを形に」していく市民協の出番です。中間支援組織としての役割が求められています。

仙台事務局は、ただ今、新しい公共支援モデル事業が残り2ヶ月となり、計画に添った活動推進と、会計や報告書作成づくりに視点をおいた活動となっておりますので、後半で諸々の報告をさせていただきます。

## 市民協の計画に期待すること

2013年1月：古賀 久恵@東北

《仮設住宅をまわって聞こえてきた話から》

### ★声1：仮設支援員男性

〇〇仮設は今10室空きがある。〇〇仮設は20室。これはさあ。仮設にいた人たちが新しい生活を歩みだしたってことだから、いいことなんだよなあ？ ・こうして仮設が空になれば俺たちの仕事も必要なくなって失業するけど、それがいいことなんだよね。(確認するかのように語りかけられました)

## ★声 2 : 50 代女性

仮設から出てもとの場所に家を建てるつもりだったけど、つい最近の地震のときに怖くなって、もう一度考え直すことにした。震災前は建物や木々があったのに今は何もないから、同じような津波が来たら 3 月 11 日の津波より危ない。それにね、考え直した 1 番の理由は、周りに住んでいる人がいなくなっちゃったから除雪がまったく入らなくなって…。そんなところに住んだら逃げられない。だから出て行けって言われるまでは、狭いけど仮設住宅の方が安心だって思っているの。

## 《古賀のコメント》

「出て行けと言われるまではいる」という声を聞いた時に、みなさんに伝えるべきことを失念していたことに気づきました。

先日、3 年目の支援について、某市役所の復興支援室の方たちとお話をした際に、応急仮設住宅から多くの人が出ていった頃が本当は一番支援が必要という意見が出ていました。

市の復興関連の仕事は、被災者の方々が復興住宅や再建した住宅に移り住んでもらうところがゴール。それから先は、通常の福祉課の仕事になってくる。ただでさえマンパワーが不足している福祉課ではフォローしきれなくなるだろうと。

市民協会員のみなさんが平時から行っている「地域ささえあい活動」は、仮設に残された人や復興住宅で暮らし始めた人たちから、今後さらに必要とされることであると推測します。しかし、被災地には福祉人材のマンパワーが足りません。仮設住宅がなくなる頃、外からの支援はさらに必要となってくる時期を迎えるのだと思いました。

市民協の計画にあるシニアの活用が、3 年目 4 年目 5 年目の被災地で貢献し、被災した方々を救う仕組みになることを願います。

# モデル事業進捗状況

藤田 佐和子

## ■ 1 月 28 日（月）公認会計士による実地指導を受けました。

宮城県では、「新しい公共支援事業」が適切かつ円滑に事業が行われているかどうか、この公共支援事業の交付金を使って、「公認会計士による実地指導」を 1 月末から開始しました。おそらく岩手県宮古市で起こった NPO による不祥事を受けての対策でしょうが、あらかじめ送られてきたチェックシート 2 枚に添って自己評価し、その後公認会計士が 3 時間にわたってチェックするダブル評価方式でした。

勿論、全て適正でしたが、2 点の指導がありました。1 つは、各仮設に振り込んだ活動費（活動したことで受け取った謝金は個人収入となったり、グループ内でプールしたりしています）が、どのように使われているかのチェックが足りなかった点です。二つ目は、雇用スタッフの交通費

を源泉徴収していたことです。通常は非課税枠以上の通勤費を支給している場合は、給与に合算することになっておりますので、そのとおりの処理をしていたのですが、高速料金や仮設への移動までもそこに含んでいましたので、それは実費扱いとして処理して良いそうです。

書類作成が出来ているかどうか、会計処理に不備がないかどうかを、事業終了前にチェックして頂きましたので、これで心おきなく成果に向けて前に進むことが出来ます。

### ■1月30日（水）「仮設住民によるコミュニティ・カフェ等会議体推進会議」を開催。

出席者 12 名＋事務局 3 名で、事業や講座の進捗状況、ならびに事業計画に添った活動が計画どおりに行われているか、5段階方式の自己評価をしながら検証し、今後に向けてどうしたら良いか意見交換しました。いよいよ2ヶ月を切った今、そこで出た意見の主なものは以下のとおりです。

- ・成果や波及効果に至るまでには時間がかかる。残された時間でやれることは、4月以降の活動の方向性へのアドバイス。
- ・大きな成果よりも、小さな成果の積み重ねで良いのでは？
- ・出来なかったことよりも、評価の高いところを更に伸ばす方が良いのでは？
- ・役割分担、自治会運営のたちあげ方、失敗例、心の動き、具体例の積み重ねの文字化したマニュアルが必要なので、これから作成する報告書に期待する。
- ・助成金の獲得方法だけでなく、プロセスでのサポートが必要。
- ・モデル事業はよかった。各仮設が元気になったように思う。
- ・この事業が終了するのは残念。人的なネットワークの情報の体系づくりが必要。

## とぴっくす

### ■エプロン贈呈

震災以降、物品、金銭等、たくさんの方々からご支援して頂きました。ありがとうございます。モデル事業の備品購入予算は使い切ってしまいましたので、これらのエプロンは、これまで頂いた支援金を使って4仮設にプレゼントしました。緑は「若松会」、オレンジは「ニッペ de カフェテラス」、黄色は「おにぎり会」、ピンクは東松島市の「あおぞらコミュニティ」です。

下の写真は3仮設合同で行った講座・交流会の時のものです。



## ■お茶を届けましたよ～

フードバンク宮城から、時折、食料品等を頂き、各仮設に届けておりましたが、今回、我々の活動を知ったフードバンク鹿児島より、鹿児島茶の提供がありました。鹿児島の大学生が自分達で摘んだお茶を仮設の方々に飲んで頂きたいと集めて下さったそうです。

集会所のサロン活動で使わせて頂いております。ありがとうございました。



仙台市宮城野区  
扇町1丁目仮設  
「おにぎり会」



仙台市若林区ニッペリ  
ア仮設「ニッペ de カ  
フェテラス」



仙台市若林区  
みなし仮設  
「若松会」



東松島市やもとグリ  
ーンタウン仮設「あお  
ぞらコミュニティ」

## 【1月パワソル喫茶実施報告】

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
			すみちゃんの家	さくら会 JR南小泉	男の台所 扇町1丁目公園	
			NALC・仙台港背後地6 号公園 中野仮設	NALC・荒井小用地仮設		
				ぼすとらる 七郷中央公園仮設		
13	14	15	16	17	18	19
すずめの宿・七郷中央公 園仮設&2号公園仮設						
20	21	22	23	24	25	26
	仙台傾聴の会 扇町1丁 目公園		すみちゃんの家	さくら会 卸町5丁目		ぼすとらる 扇町4丁目仮設
			NALC・福田町南&岡田 西町	NALC・七ヶ浜第一スポー ツ広場仮設・七ヶ浜中学 校第2グラウンド		
27	28	29	30	31		

# 【1月モデル事業活動報告】

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
		若松会		ニッペ 事会 食	おにぎり会 カフェ	
				若松会 学習サポート		
13	14	15	16	17	18	19
	あおぞら サロン			おにぎり会 食事+カフェ	講座 ニッペ、若松会 ラフターヨガ	
				あおぞら パッチワーク	おにぎり会 出張カフェ	
				若松会 学習サポート		
20	21	22	23	24	25	26
ニッペ講座 ハンドケア	おにぎり会 サロン体験			あおぞら 料理教室	ニッペ 事会 食	
	あおぞら講座 支援員			あおぞら講座 助成金	あおぞら パッチワーク	
	おにぎり会 カフェ			若松会 学習サポート		
27	28	29	30	31		
講座 (味の素)		若松会				
あおぞら 喫茶				若松会 学習サポート		